

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
73204	3	前期	必修	1	30
授業科目名 (英文)	小児看護援助論Ⅱ（臨床看護援助） (Nursing Care of Children & FamiliesⅡ)				
担当教員名	篠木 絵理／田久保 由美子／小野 治子				
授業の概要及び到達目標					
概要： 本科目では、こどもの発達段階と健康レベルに応じた援助をするために必要な知識と技術について修得する。 到達目標： 1. 健康障害がこどもの成長・発達やこどもと家族の生活に及ぼす影響について説明できる。 2. 小児期に多い疾患の病態および治療を理解し、健康障害のあるこどもの健康に関わる問題についてアセスメントできる。 3. こどもと家族への援助方法を具体的に説明できる。					
準 備 学 習 等					
各回の授業では、教科書を参考に、第 1 回授業で配布するワークブック No.2 の授業該当部分を完成させて授業に臨むこと。					
成績評価の方法	評価の基準は、次のとおりとする。 【筆記試験】最終試験及び中間での達成度を確認する試験により評価する。 最終試験 80%（達成度評価の結果に応じ 0-10 点加点分を含む） 【課題レポート】 授業内レポート及びワークブック 20% （未提出、提出遅れ、内容不足の場合減点あり）				
テキスト	・奈良間美保他著、「系統看護学講座 専門 22 小児看護学Ⅰ小児看護学概論 小児臨床看護総論」，医学書院，2015 ・奈良間美保他著、「系統看護学講座 専門 23 小児看護学Ⅱ小児臨床看護各論」，医学書院，2015				
参考図書	講義内で提示する。				

備 考	課題内容の詳細は第1回授業のガイダンスで説明するので必ず出席のこと。 本科目の単位取得は母性・小児看護学実習の履修前提条件である。 各教員のオフィスアワーについては、デスクネットを参照すること。
授 業 計 画	
第1回	ガイダンス・健康障害のあるこどもとその家族の援助
第2回	健康障害のあるこどもの発達の支援
第3回	こどもの病態と初期アセスメント1＜こどもの生理的機能の発達＞
第4回	こどもに特有な症状と看護1＜発熱・脱水を呈するこどもの看護＞
第5回	こどもに特有な症状と看護2＜発熱・脱水を呈するこどものアセスメント＞
第6回	こどもの病態と初期アセスメント2
	＜こどもに特有な症状とフィジカルアセスメント＞
第7回	こどもに特有な症状と看護3＜呼吸困難を呈するこどもの看護＞
第8回	こどもの標準看護計画1＜新生児・低出生体重児の看護＞
第9回	こどもの標準看護計画2＜在宅療養児・障害児の看護＞
第10回	こどもの救命救急と看護
第11回	中間まとめ
第12回	こどもと家族の初期アセスメントと看護援助1＜事例学習と知識の整理＞
第13回	こどもと家族の初期アセスメントと看護援助2＜事例学習による知識の活用＞
第14回	こどもと家族の初期アセスメントと看護援助3＜事例学習の共有と振り返り＞
第15回	こどもと家族の初期アセスメントと看護援助4＜まとめと評価＞